

## 平成30年度倫理審査委員会 議事録

1. 日時 : 平成30年7月23日 (月) 15:00 ~ 17:00

2. 場所 : 大会議室

3. 出席者 : 別紙のとおり

### 4. 議題

#### (1) 平成30年度臨床研究部申請課題について

各研究者から別添の申請書等により概要を説明。

##### ①心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の予後についての研究

- ・現在も実施している研究の期間延長、内容的を確認したが問題ないので承認とする。

##### ②入院処遇から通院処遇を経ないで処遇終了となる事例の予後調査

- ・現在も実施している研究の期間延長、内容的を確認したが問題ないので承認とする。

##### ③問診用紙の検討 統一した視点での情報収集を目指して

- ・記載した方の匿名化、経験年数を出さないなど特定されないようにし、患者さんの資質により誰が対応したか解るので、複数の患者さんをミックスして架空事例として発表するなど、条件付き承認。

##### ④長期身体拘束の患者に対する拘束ゼロへの看護の関わり

- ・患者さんが特定されないよう発表時年齢に気をつけること、内容的を確認したが問題ないので承認とする。

##### ⑤理学療法における関係性構築に関する研究

- ・開始期間を承認後に訂正、同意書の他の機関を削除、シールや線の説明が書けると解りやすくしてよい、条件付き承認。

⑥摂食嚥下機能訓練の取り組みと事例報告

- ・研究内容のデザインを変更するため再度審議を行う。承認しない。

⑦宿泊訓練棟の活用における自己効力間の変化について

- ・アンケートや面接による質問をもっと一般的な用語にし、期間を承認後に訂正することで条件付き承認

⑧拘束解除アセスメントシートの活用による看護の意識の変化

- ・アセスメントシートを選んだ説明が必要、年齢、経験年数が特定されないように5才刻みにするなど幅を持たせる。アンケートの2番目以降が拘束をしましょうと取れる内容、アンケートの内容を再度検討して再提出のため承認しない。

⑨動く重症心身障がい者のつなぎ服着用時間短縮に向けての看護の取り組み

- ・同意書の本人又は保護者を保護者に変更、申請書の保護者を家族等にまとめる。どの様な方法で個人情報を守るか記載、日々のチェックシート、研究内容が解るように書き直しが必要であるため再提出、承認しない。

(2) その他

- ・特になし

以 上